

立石科学技術振興財団

〔国際会議〕

申 請 者	京都大学大学院 農学研究科 教授 植田 充美	2025001
研究集会名	International Joint Symposium on Single-Cell Analysis (単一細胞解析国際シンポジウム)	
開催期間	2012 年 11 月 27 日～2012 年 11 月 28 日	
開催場所	京都市サーチパーク内京都バイオ計測センター	
申請者の役割	組織委員長	

概 要：

急速に発展するヘルスケアの最先端研究である「1細胞解析」において、ゲノムバイオとエレクトロニクスの融合に基づく技術開発が急務である。そこで、「単一細胞解析」分野を世界的に先導するシングルセルサーパーバイザー研究会が企画し、京都市サーチパーク内に新設の京都バイオ計測センターで標記の国際会議を開催した。京都バイオ計測センターは、主催の京都大学の植田充美が代表を務めており、国内外の研究者には魅力的なロケーションであると同時に、成果発表と実質的な研究交流を効果的に実施でき、我が国のプレゼンスもアピールできる。ゲノム工学、オミクス解析、装置開発等に携わる研究とその成果の実用化を見据えて、企業の研究者も多数参加した。具体的には、遺伝子配列の自動解析、オミクス解析、Imaging や MEMS 解析などを基盤としたバイオ計測を生命機能の理解に向けた1細胞の精密解析に浸透させ、この分野で世界的に著名な海外研究者と国内研究者たちの最近の話題の議論により、本分野の進展が図れた。これまで、スウェーデンやスイスで招待開催されてきており、その内容は、著名な世界的な Nature Material 誌にも紹介されてきている。また、日本のリーダーシップにより、アジア・アフリカにおける若手研究者の参画を促し、若手研究者（ポスドク、大学院生）を中心としたポスターセッションと若手賞も設け、関連分野の若手の育成にも着手できた。これは、新しく若い国際的で、かつ、持続的なネットワークの強化につながり、新しい分野の開拓をもめざしたものでその重要な目的も実現できた。